

## 審議会会議録

会議名称	令和元年度第2回大滝区地域協議会		
議 題	報告第1号 伊達市中島地区牧場の廃止について 議案第1号 令和2年度大滝区振興基金対象事業の事業計画について		
開催日時	令和元年11月28日（木） 午後3時00分～午後4時00分		
場 所	伊達市大滝総合支所 2階大会議室		
出席者	出席者8名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
【会議の概要】			
<b>1. 開 会</b> 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。			
<b>2. 市長あいさつ</b> 昨今の人口減少社会で、とりわけ2040年問題が取り沙汰されており、高齢化率が高い伊達市でも将来直面することになる。地方では、出生率も低下し、急速に進む人口減少問題に対策しなければならないが、先日出張で訪れた東京は、人で溢れかえっていた。本当に人口減少社会なのかと疑問に思うと同時に都市部から地方への移住の必要性を実感した。 また、近年は自然災害が多発しており、これまで50～100年単位だった災害発生想定が1000年に1度の規模を想定した防災対策を迫られている。大滝も災害が多い地域で高齢化を考慮すると事前の避難が重要であり、今回の議題ではないが、支所庁舎を改修しようと考えている。昨年は大規模停電もあり、高齢者が安心して避難できるよう支所庁舎を大滝の防災拠点施設として位置付け、今後整備を進めていきたい。本日は、よろしくお願いいたします。			
<b>3. 会長あいさつ</b> 昨日は雨で暖かかったと思えば急に真冬日になったりと天候が不順でこれから厳しい冬の期間になるが、委員の皆さまにはインフルエンザなど体調に十分留意の上、年末年始を迎えてもらいたい。本日は、審議の程よろしくお願いいたします。			
<b>4. 署名人の選任</b> 審議に先立ち、会議録署名人に安食委員、宇井委員を指名			

## 5. 議題

報告第1号 伊達市中島地区牧場の廃止について  
事務局より説明（別紙のとおり）

### ○質疑応答

会 長：質問はありませんか。

委 員：国から払い下げを受けるということでよいか。

事 務 局：敷地内の構築物を撤去して返却するか、買い取るかのいずれかになり、  
買い取ることとなった。

委 員：買い取り後の活用予定は。

事 務 局：農業関連の事業に活用したいとの要望を民間企業から数件受けている。

議案第1号 令和2年度大滝区振興基金対象事業の事業計画について  
事務局より説明（別紙のとおり）

### ○質疑応答

会 長：質問はありませんか。

委 員：資料中の予算額が円単位と千円単位になっていて分かりにくい。

事 務 局：表記方法を工夫したい。

委 員：高齢者福祉バスの利用実績は何回か、また、本町・伊達間のバス運賃は  
現在いくらなのか。

事 務 局：前年度の実績は延べ4,299回、本町から伊達紋別駅までの片道バス運賃  
は950円となっている。

委 員：レイクカウチン中学生派遣事業に行政職員は3名も必要なのか。

市 長：洞爺湖サミット時にハーパー首相が唯一、伊達市を訪問してくれたのは  
行政職員を含む大滝の方々友好を深めてきた積み重ねの結果だろう。  
また、職員の派遣は一つの研修でもあり、すぐに効果が表れるものでは  
ないと考える。

## 6. その他

委 員：現在、伊達と大滝で実施している乳幼児健診が伊達だけになるとの話を  
聞いた。自然豊かな環境で安心して子育てできるように、また、徳舜警  
学校の存続するように大滝で乳幼児健診を継続してもらいたい。財政的  
に難しいのなら、大滝区振興基金を活用してもよいのでは。

市 長：行政運営の考え方に関わる問題であり、大滝での乳幼児健診がなくなる  
ことについては、確認したい。大滝での乳幼児健診は継続したい。

委 員：公営住宅は7割程の入居状況となっているが、例えば、高齢者を便利の  
良いコンビニ周辺に入居させるなどといった運用はできないか。

市 長：公営住宅は法で運用が定められており、様々な制約がある。そのため、  
今後は定住促進住宅を整備し、高齢者の利便性を確保するよう弾力的な  
運用を図っていきたい。また、公営住宅に入居する高齢者からの聞き取り  
調査にも取り組みたい。

委 員：今日も何人か欠席者がいるが、予め開催日を決めるよりも多くの委員が  
出席できるよう日程調整してほしい。

事 務 局：今後、検討する。

事 務 局：委員の専任期間が来年3月末をもって満了となる。事務局としては公共  
的団体の役職者である1号委員と学識経験者の2号委員の方々には、引続  
きお願いしたいと考えている。あわせて、3号委員の公募手続を進める。

会 長：ただいまの提案に異議等はありませんか。

委員 全員：<なし>

会 長：他にないようですので、以上で本日の協議会を終了したいと思います。  
本日は活発なご意見をいただきありがとうございました。

○閉 会

令和元年度

第 2 回 大 滝 区 地 域 協 議 会

令和元年11月28日（木）午後3時00分  
大滝総合支所2階 大会議室

1. 市長あいさつ

2. 議 題

報告第1号 伊達市中島地区牧場の廃止について

議案第1号 令和2年度大滝区振興基金対象事業の事業計画について

3. その他

## 大滝区地域協議会委員名簿（平成30～令和元年度）

### 1. 地域協議会1号委員（公共的団体の役職者）

農業関係	松浦勝美	（とうや湖農業協同組合理事）
林業関係	安食恵	（胆振西部森林組合理事）
商工関係	元谷隆	（壮瞥町商工会監査）
自治会関係	宇佐美雅昭	（大滝区自治会連合会会長）

### 2. 地域協議会2号委員（学識経験者）

福祉医療分野	中川学	（福祉施設職員）
教育分野	宇井尚	（大滝徳舜警学校PTA副会長）
保健分野	塚田明美	（伊達市食生活改善協議会）
行政分野	今井良	（元地方公務員）

### 3. 地域協議会3号委員（公募枠）

石川嘉一	（会社員）
大沼健	（団体職員）
川田玲子	（主婦）
岩花幸子	（主婦）

## 伊達市中島地区牧場の廃止について

中島地区牧場は、国営草地開発事業で昭和 57 年度から整備を始め平成 6 年度に供用を開始しました。

供用当初は大滝区内の畜産農家戸数 30 戸、飼育総頭数が 980 頭でそのうち牧場への入牧頭数も 480 頭余りありましたが、農家の高齢化や後継者不在などにより年々減少の一途を辿り平成 22 年度には入牧数が 66 頭にまで減少しました。こうした状況の中、牧場の運営収支は赤字が続き、利用の増加が見込めないことから平成 24 年度より牧場の運営を休止しました。

運営休止から 7 年が経過した現在は、離農や規模縮小が更に進み牧場の再開や牧草の刈入れ要望もなく、飲雑用水施設等の修繕、草地更新など多大な経費を要することから牧場の再開は難しいと判断し廃止をするものです。

### 1. 中島地区牧場概要

所在地	伊達市大滝区円山町 455 番地外		
規 模	総面積	267ha（うち草地面積 173ha）	
	雑用水施設	取水施設、導水管路、排水管路、給水施設 等	
	道 路	第 2 号幹線 3,883m、第 2 号支線 2,550m、 第 3 号支線 2,676m	
	総事業費	1,435,706 千円（国営草地開発事業：施工 昭和 57 年～平成 5 年度）	

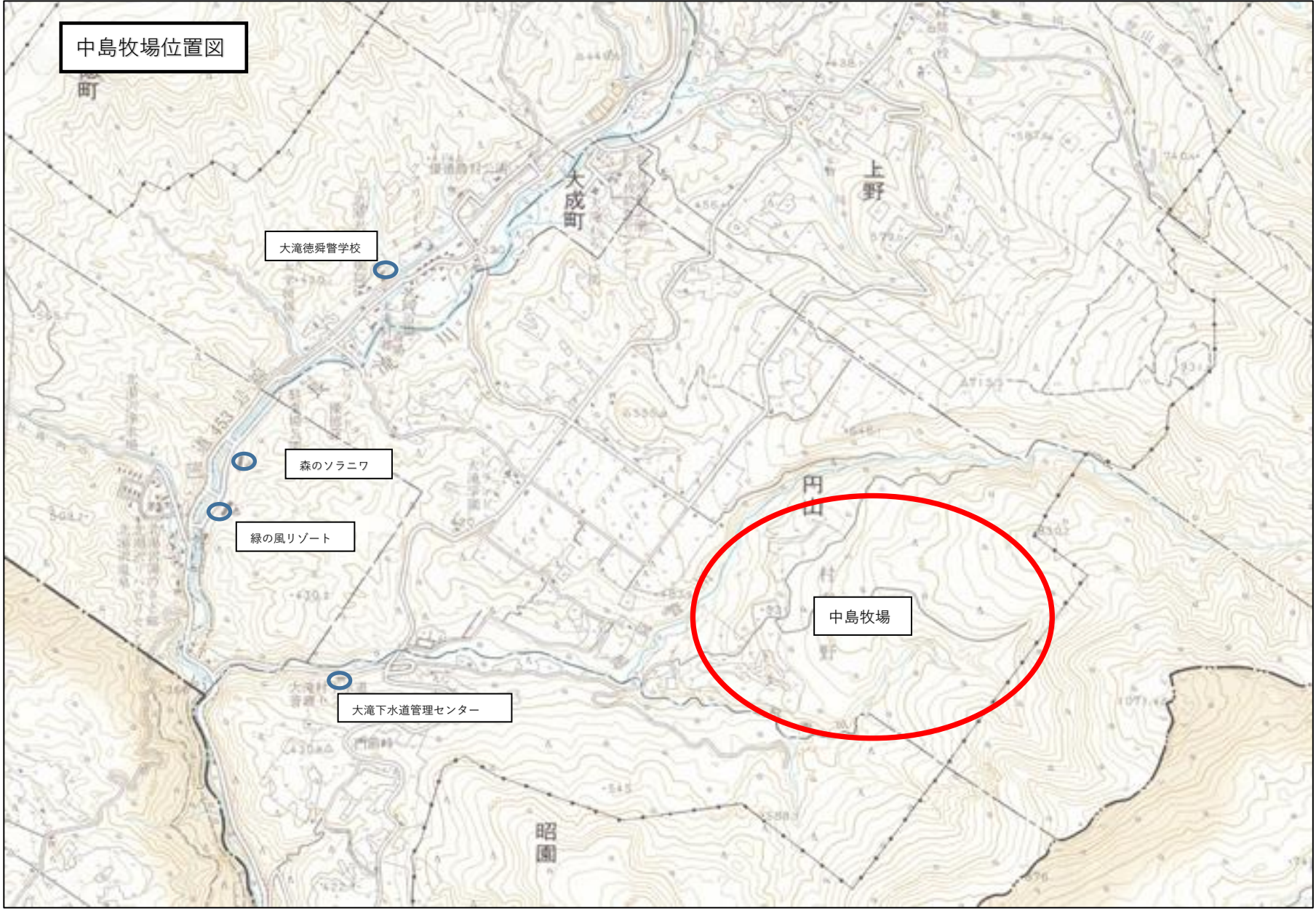
### 2. 今後のスケジュール（予定）

令和元年 11 月	大滝区地域協議会へ報告
令和元年 12 月	令和元年第 4 回定例会 条例の一部改正（案）の提出
令和元年 12 月	施設財産の払い下げ（管理道路・雑用水施設）

### 3. その他

【資料】中島地区牧場 位置図

中島牧場位置図



(単位：千円)

種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充当 予定額	備考
A	伊達市大滝区幼児療育通園交通費補助金	最寄りバス停から胆振西部児童デイサービスセンターまでの往復に係るバス料金の補助	心身に発達遅れや障害のある幼児の早期療育を推進する	107	・利用予定者 1名 本町 $2,220円 \times 4回 \times 12ヵ月 = 106,560円$	107	前年度 288千円 利用予定者減 181千円
	大滝区敬老会開催経費	大滝の発展に貢献された高齢者に敬意を表し、お祝いする	一層健康で長生きしてもらうために老人福祉の一環として開催(70歳以上)	407	・演芸謝礼 30,000円 ・飲食代 $3,700円 \times 90名 \times 1.1 = 366,300円$ ・事務用品等 10,000円 計 406,300円	407	前年度 418千円 参加予定者減 11千円
	高齢者福祉バス委託料	道南バス(株)路線の伊達から倶知安までの区間を無料とする	大滝区に在住する高齢者(70歳以上)に対する福祉施策の一環として積極的な社会参加を促進する	847	・委託料 $770,000円 \times 1.1 = 847,000円$	847	前年度 763千円 委託料の増 84千円

(記載上の留意事項)

- 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
A (福祉)、B (保険・医療)、C (労働)、D (生涯学習)、E (スポーツ・レクリエーション)、F (生きがい)、G (生活環境)、H (社会参加)、I (地域活性化)、J (人材育成)、K (その他)
- 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。



種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充当 予定額	備考
A	高齢者入浴サービス事業	大滝区の高齢者が生き生きと生活できるよう大滝共同浴場において入浴サービスを提供する	閉じこもりがちな在宅高齢者の生きがいづくりや孤立感の解消、ふれあい交流を促進させ、日常生活の維持向上を図る	641	・利用予定者 10名 ・年間延利用回数 360名 (1人あたり月3回) ・委託料 1,781円×10名×3回×12ヵ月＝ 641,160円	641	前年度 635千円 委託料の増 6千円
	高齢者外出支援サービス事業	療養のための通院や入退院、福祉施設への入退所等、公的行事への参加及び各種手続に係る大滝区内の移送を行う	在宅高齢者に対し、閉じこもりの防止と生き生きとした日常生活の維持向上を図る	404	・利用予定者 20名 ・年間延利用回数 960回 (1人あたり月4回) ・委託料 420円×20名×4回×12ヵ月＝ 403,200円	404	前年度 400千円 委託料の増 4千円
	高齢者生活援助事業	庭、家周り等の手入れ、屋根の雪下ろし、家周りの除排雪を行う	在宅高齢者の心身機能の活性化を図り、生き生きとした日常生活の維持向上を図る	330	・利用予定者 15名 ・年間延利用回数 105回 (1人あたり年7回) ・委託料 3,143円×15名×7回＝ 330,015円	330	前年度 329千円 委託料の増 1千円

## (記載上の留意事項)

- 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
A (福祉)、B (保険・医療)、C (労働)、D (生涯学習)、E (スポーツ・レクリエーション)、F (生きがい)、G (生活環境)、H (社会参加)、I (地域活性化)、J (人材育成)、K(その他)
- 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。

種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充当 予定額	備考
A	生き生きデイサービス事業（生きがい活動支援事業・介護予防通所事業）	施設に通所し、基本事業である生活相談、日常動作訓練、健康状態の確認、送迎給食サービス等を通し充実した一日を過ごす	大滝デイサービスセンターに通所し、食事や入浴、レクリエーションを通し充実した一日を過ごすことにより、心身機能の維持と閉じこもりを防ぎ、生きがいをづくりを援助しつつ、要介護状態の予防を図る（65歳以上）	2, 5 1 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用予定者 8名</li> <li>・年間延利用回数 480回（1人あたり月5回）</li> <li>・委託料  <math>5,238円 \times 8名 \times 5回 \times 12ヵ月 = 2,514,240円</math></li> <li>・口座振替手数料  <math>20円 \times 8名 \times 12ヵ月 \times 1.1 = 2,112円</math></li> <li style="text-align: right;">計 2,516,352円</li> <li>・個人負担  <math>523円 \times 8名 \times 5回 \times 12ヵ月 = 251,040円</math></li> <li>・基金充当予定額  <math>2,516,352円 - 251,040円 = 2,265,312円</math></li> </ul>	2, 2 6 7	前年度 基金充当分 2,247千円 委託料の増 20千円

(記載上の留意事項)

1. 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
 A（福祉）、B（保険・医療）、C（労働）、D（生涯学習）、E（スポーツ・レクリエーション）、F（生きがい）、G（生活環境）、H（社会参加）、I（地域活性化）、J（人材育成）、K（その他）
2. 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。

(単位：千円)

種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充 当 予 定 額	備 考
B	児童生徒医療助成費	保険適用分の自己負担分を助成	児童生徒の医療費をその保護者に助成し、心身共に健康な児童生徒の育成を図る	1, 200	・医療費月平均 100,000円 100,000円×12ヵ月=1,200,000円	1, 200	前年度 1,200千円 (同額)
	妊産婦健診通院交通費補助金	妊産婦健診等に係る通院交通費として自宅から伊達及び倶知安間のバス料金を補助する	妊婦の疾病等に対する予防措置として、適切な指導をすため健診診査に要する通院交通費補助により母子保健の向上を図る	95	・対象者 5名 1,900円×5名×10回= 95,000円	95	前年度 93千円 バス料金の増 2千円

## (記載上の留意事項)

- 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
A (福祉)、B (保険・医療)、C (労働)、D (生涯学習)、E (スポーツ・レクリエーション)、F (生きがい)、G (生活環境)、H (社会参加)、I (地域活性化)、J (人材育成)、K(その他)
- 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。

種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充当 予定額	備考
D	レイクカウチン中学生派遣事業	大滝徳舜警学校の7年生、8年生全員をカナダ・レイクカウチン町に派遣する	姉妹都市カナダ・レイクカウチン町との親善交流と大滝区の生徒に国際感覚を持たせるため、異文化の体験と英語圏での生活を体験させる	7,708	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣予定人数 18名</li> <li>生徒 12名 (7年生7名、8年生5名)</li> <li>引率教員 3名</li> <li>行政職員 3名</li> <li>・引率教員、行政職員等旅費 2,965,140円</li> <li>・土産代 33,000円</li> <li>・医薬品代 15,000円</li> <li>・携帯電話レンタル料等 26,000円</li> <li>・派遣生徒負担金 389,000円×12名=4,668,000円</li> <li>計 7,707,140円</li> </ul>	7,708	前々年度 5,295千円 派遣人数の増 2,413千円

## (記載上の留意事項)

1. 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
A (福祉)、B (保険・医療)、C (労働)、D (生涯学習)、E (スポーツ・レクリエーション)、F (生きがい)、G (生活環境)、H (社会参加)、I (地域活性化)、J (人材育成)、K(その他)
2. 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。

種別	事業名	事業概要	目的・効果等	事業費	事業費の算出根拠	基金充当 予定額	備考												
D	大滝徳舜警学校中 体連事業運営補助 金	中体連の上位入賞 者が出場する全道 大会等の派遣に係 る経費の一部を補 助する	中体連各種大会へ の参加を積極的に 進め、中学校におけ る各種スポーツの 振興と体力向上、青 少年の心身の健全 な発達に寄与する	350	<table border="0"> <tr> <td>・西胆振中体連負担金</td> <td>15,400円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大会参加料</td> <td>79,600円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・交通費</td> <td>255,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>350,000円</td> </tr> </table>	・西胆振中体連負担金	15,400円		・大会参加料	79,600円		・交通費	255,000円			計	350,000円	350	前年度 350千円 (同額)
・西胆振中体連負担金	15,400円																		
・大会参加料	79,600円																		
・交通費	255,000円																		
	計	350,000円																	

## (記載上の留意事項)

- 種別欄は次の区分に従って記入し、種別毎に用紙を換えること。  
A (福祉)、B (保険・医療)、C (労働)、D (生涯学習)、E (スポーツ・レクリエーション)、F (生きがい)、G (生活環境)、  
H (社会参加)、I (地域活性化)、J (人材育成)、K(その他)
- 事業費欄は単年度ベースを記入し、継続事業については全体事業を備考欄に記入すること。